

エコパワーウレタン

厚膜化が可能なターペン可溶2液形ポリウレタン塗料。
厚塗り塗装が可能である事により、塗装工程の短縮、トータルコストの低減が可能。
優れた塗膜性能と要望に応える幅広い色彩に対応。肉持ち感のある美しい仕上がり外観が得られます。

試験成績表（社内試験による）

容器の中での状態	主剤・硬化剤ともにかき混ぜたとき、堅い塊がなくて一様になるものとする	合格
分散度（分布図法） μm	30 以下	合格
塗装作業性	塗装作業に支障があってはならない	合格
乾燥時間（h）	3 以内	合格
混合性	均等に混合すること	合格
塗膜の外観	塗膜の外観が正常であるものとする	合格
ポットライフ（h）	3 以内	合格
付着性（クロスカット法）	剥離しないこと	合格
耐衝撃性	300mm の高さから 500g のおもりを落とすとき、おもりの衝撃で塗膜に割れ及びはがれができないものとする	合格
エリクセン値	5 以下	合格
耐屈曲性	直径 3mm の折り曲げに耐えるものとする	合格
耐水性	水に 72 時間浸したとき異常がないものとする	合格
鏡面光沢度（60 度）	85 以上	合格
耐候性	1 年間の試験で塗膜にさび・膨れ・割れ・はがれがないものとする	合格
加熱残分%	（混合品）	58.4

標準塗装仕様（塗り替え）

塗装工程	塗料名	混合比	塗装回数	標準使用量 (kg/m ²)	乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
下地調整	砂、ゴミ、浮いた塗膜などの付着物は高圧洗浄で入念に除去し、乾燥した清浄な面とする。							
下塗り	エポノックスマイルドプライマー	9 : 1	1	0.12~0.14	6 時間以上 7 日以内	ペイント シンナー A	0~10	ハケ、ウールローラー
上塗り	エコパワーウレタン	9 : 1	1	0.13~0.15	6 時間以上	ペイント シンナー A	0~10	ハケ、ウールローラー

●上記の数字はすべて標準の数値です。施工方法、施工条件、下地状況により多少の幅を生じることがあります。

製品体系

塗料名	容量	色相	つや	塗り面積/缶当たり(16kg) / 1 工程
エコパワーウレタン	16kgセット（主剤14.4kg 硬化剤1.6kg） 4kgセット（主剤3.6kg 硬化剤0.4kg）	各色	つや有り	106~123m ²



概 要	
------------	--

主用途	建築物内外装、鉄鋼構造物
適用下地	コンクリート、モルタル、窯業系サイディング、カラー鋼板 塩ビ鋼板など
主要組成	ウレタン系
荷姿	16kg（主剤14.4kg、硬化剤1.6kg） 4kg（主剤3.6kg、硬化剤0.4kg）
色	白、原色、各色
仕上がり	つや有り
塗装器具	はけ、ウールローラー、エアレススプレー
希釈剤（希釈率）	ペイントシンナー A（はけ、ローラー 0～10%） （エアレススプレー 5～20%）
間隔時間（23℃）	工程内 4 時間以上、最終養生 30 日以内
ホルムアルデヒド放散等級	該当せず
JIS規格	該当せず
防火認定	該当せず
消防法表示	第 4 類第 2 石油類
適合下塗材	エポノックスマイルドプライマー、UX-マルチバインダー ARプライマー、エコパワー # 2 0 0
ポットライフ	6 時間（20℃）

施工上の注意事項	
-----------------	--

- | | |
|---|--|
| <p>①塗装時 0℃以下、塗装後 0℃以下の気温が連続することが予想される場合、または塗装時の湿度85%以上の場合は施工しないでください。</p> <p>②水・アルコール系溶剤の混入は絶対に避けてください。</p> <p>③過剰希釈をすると本来のつやが発現しないおそれがありますので、規定の希釈量をまもってください。</p> <p>④硬化剤は湿気に変質しやすいので密栓して貯蔵してください。</p> <p>⑤ペイントシンナー A 以外（例えばウレタン用シンナーなど）での希釈は絶対に避けてください。</p> <p>⑥絶えず結露が発生するような場所での使用は避けてください。著しい結露が予測される場合は、塗装を避けるか、溶剤系塗料での塗装をおすすめ致します。</p> <p>⑦塗装後、乾燥不十分な状態で降雨、結露などがある場合や、低温、高湿度の場合には、膨れ、剥離、割れ、白化、シミが発生するおそれがありますので、塗装を避けてください。やむを得ず塗装する場合は、強制換気などで湿気を飛ばすようにしてください。</p> <p>⑧溶剤系塗料のため、室内での塗装は必ず換気を行ってください。また外部での塗装においても、換気口・空気取入口などに養生を行い、溶剤蒸気が室内に入らないように注意してください。居住者への配慮をお願い致します。</p> | <p>⑨屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。</p> <p>⑩塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分に行い、火気厳禁にしてください。</p> <p>⑪飛散防止のため必ず養生を行ってください。</p> <p>⑫ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、色相や仕上がり感が異なって見えることがあります。</p> <p>⑬汚れ、キズなどにより補修塗りが必要な場合は、塗料ロット、希釈率、補修方法などの塗装条件を同一にしてください。</p> <p>⑭塗料は内容物が均一になるようにかくはんしてください。</p> <p>⑮開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。</p> <p>⑯塗料漏洩の原因になりますので、保管、運搬時に容器を横倒しにしないでください。</p> <p>■製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート（SDS）をご参照ください。</p> |
|---|--|